

R7208SB/R7308SB ソフトウェアアップデート方法

R7208SB/R7308SB は Futaba WEB サイトからデータをダウンロードして最新のソフトへ更新することができます。

※記載されているパソコンの各表示画面は一例です。機種により異なる場合がありますのでご了承ください。

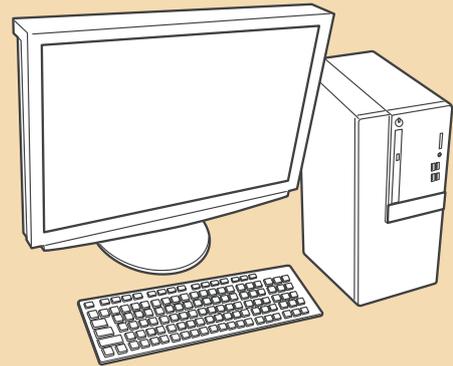
必要なもの：CIU-3 を使用する場合

CIU-3

※CIU-2は使用できません。



CGY750/GY701/GY520用コード

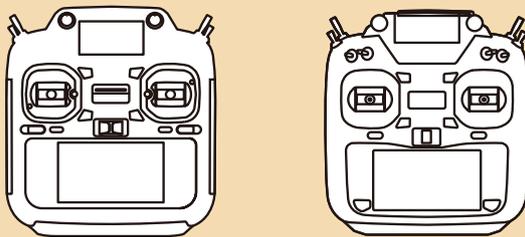


インターネットに
接続可能なパソコン

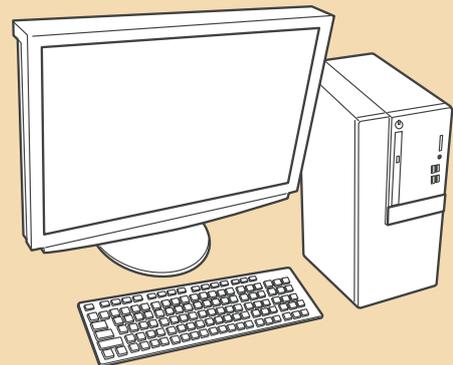
必要なもの：T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~), T26SZ を使用する場合



microSDカード



T26SZ あるいは
T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~)



インターネットに
接続可能なパソコン



CGY750/GY701/GY520用コード

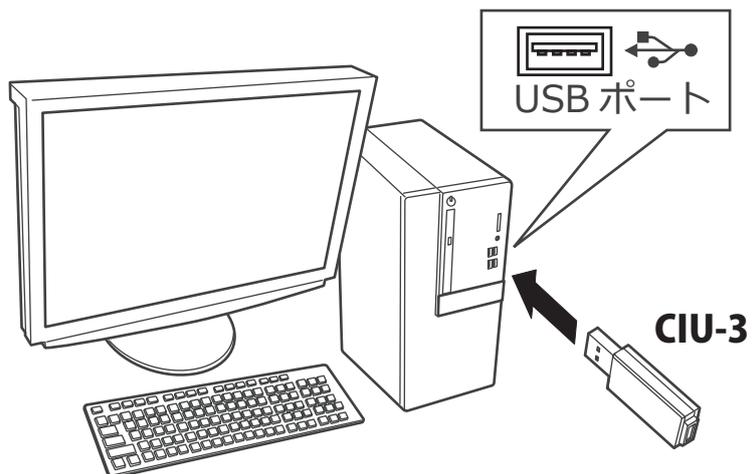
受信機用バッテリー



CIU-3 を使用する場合

事前の準備

1. パソコンへ CIU-3 のドライバソフトをインストールします。

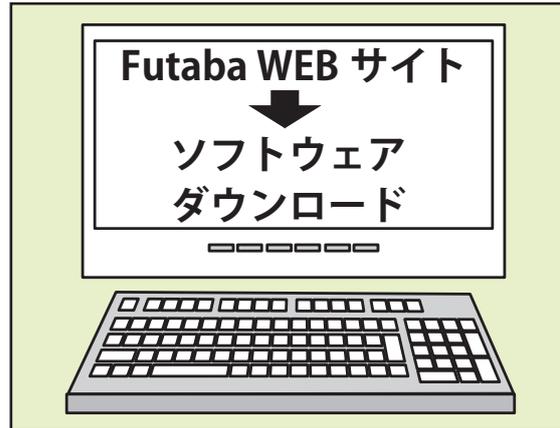


CIU-3 は初めてパソコンへ接続すると自動でドライバソフトがインストールされます。

アップデート手順

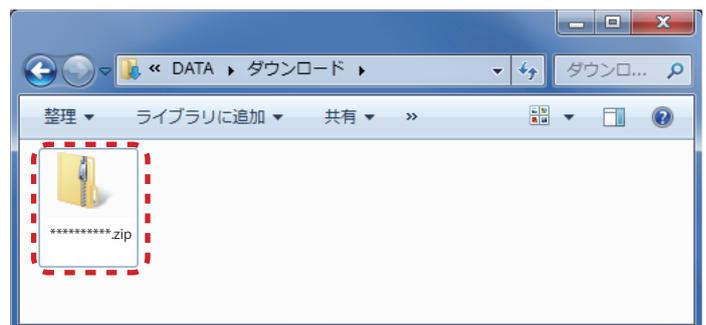
1. アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://www.rc.futaba.co.jp/>



2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

zip ファイルの展開 (解凍) 例 (PC により異なります。)



ダウンロードページしたアップデートファイルを、エクスプローラで開きます。



「ファイルをすべて展開」ボタンをクリックします。



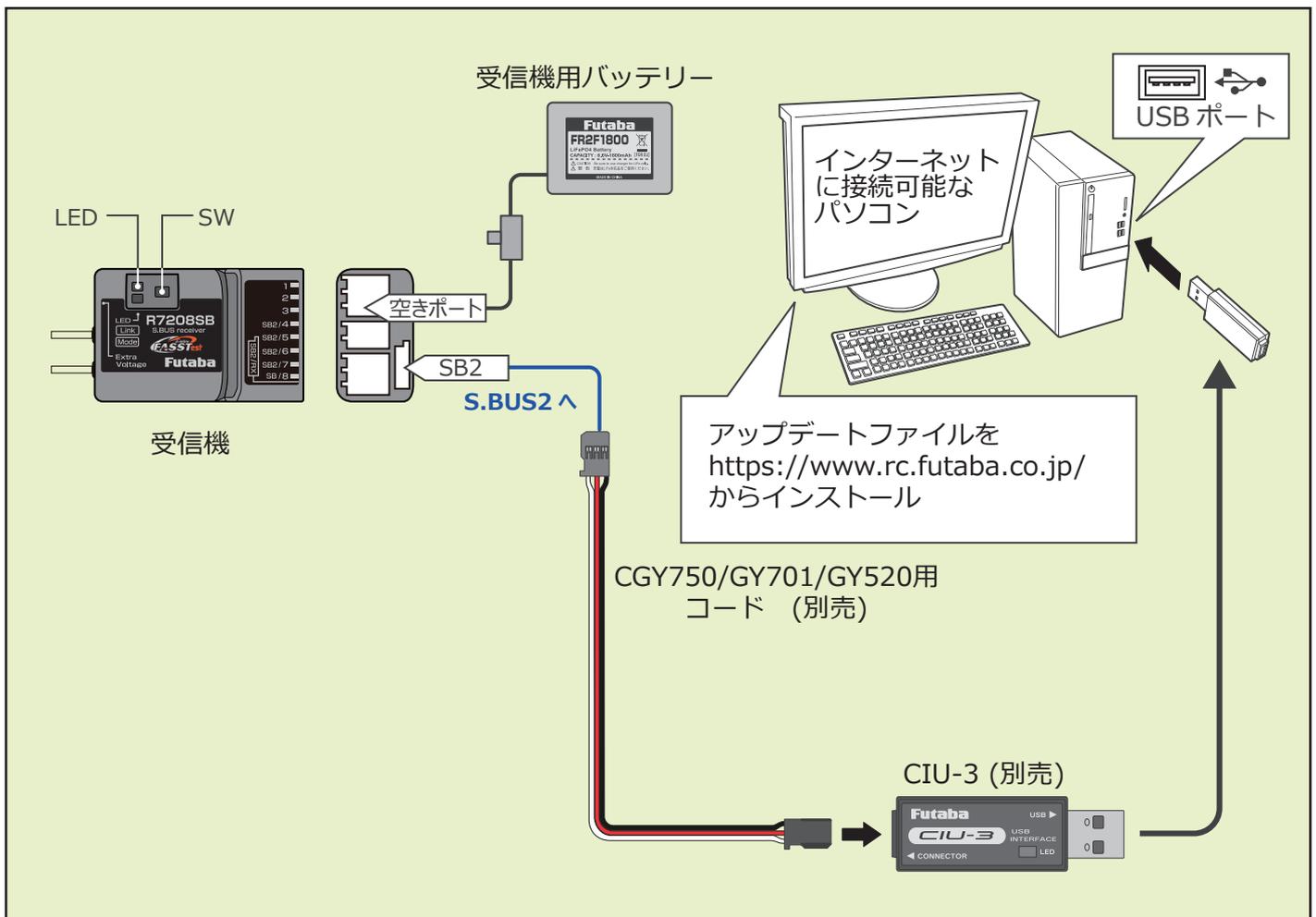
「完了時に展開されたファイルを表示する」がチェックされていることを確認し、「展開」ボタンをクリックします。

3. 展開（解凍）されたアップデートファイルをパソコンへコピーして同じフォルダへ入れます。

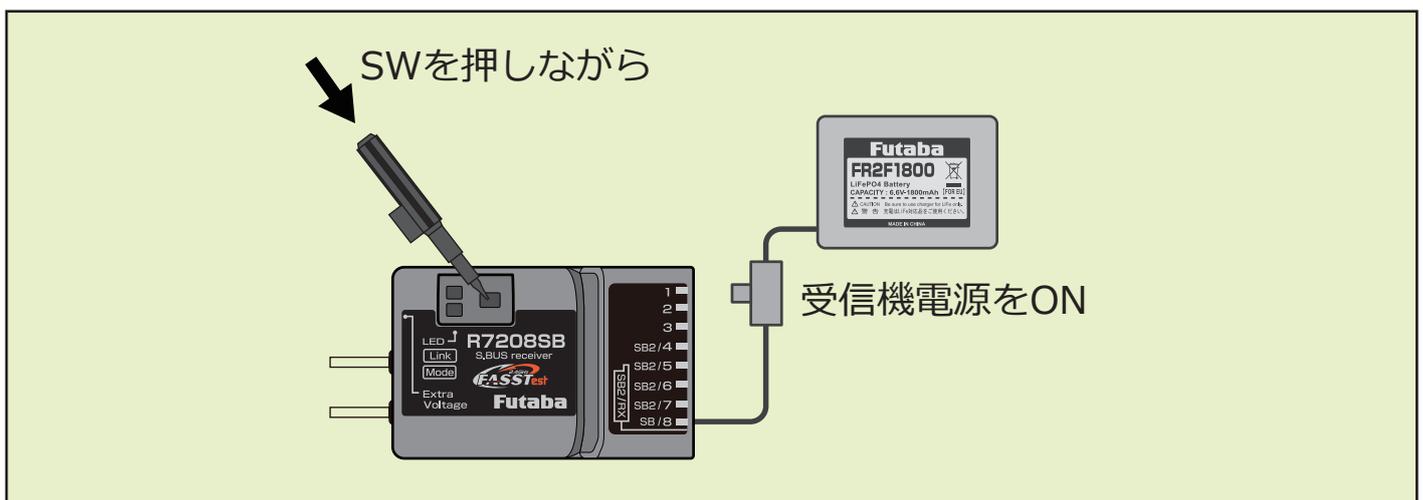


※ R7208SB と R7308SB のアップデートファイルは共通です。
R7308SB も R7208SB アップデートファイルをご使用ください。

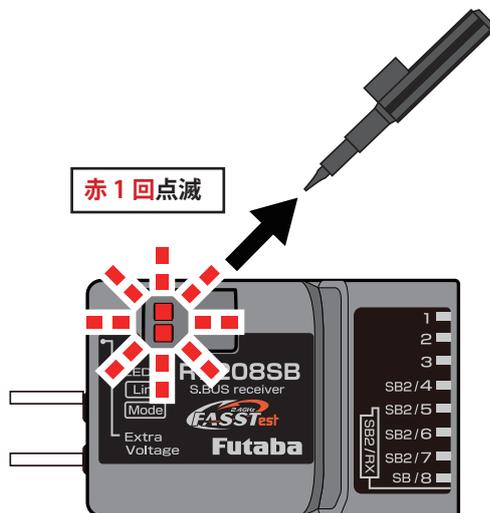
4. 図のように R7208SB/R7308SB とパソコンを CIU-3 を介して接続します。



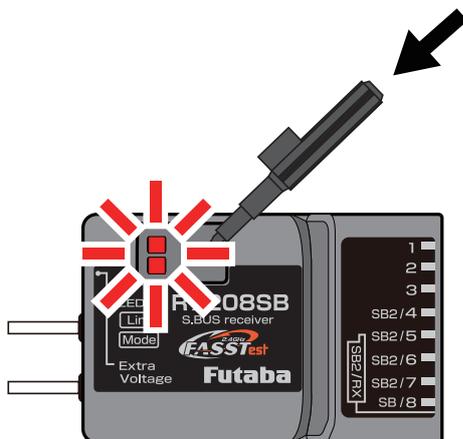
5. SW を押したまま受信機電源を ON します。



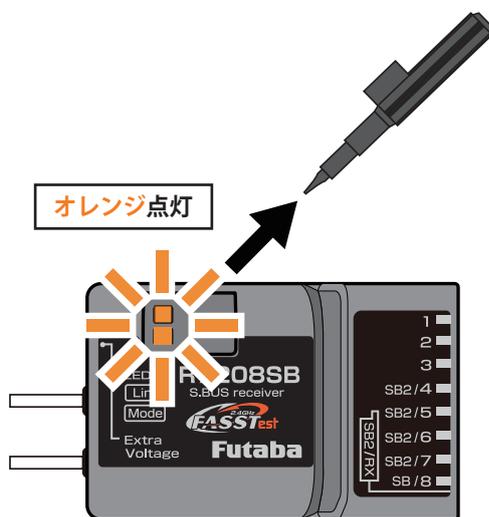
6. 赤が1回点滅したら SW を離します。



7. すぐに SW を長押しします。

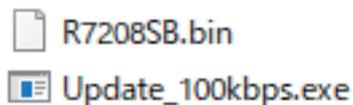


8. オレンジ点灯になったら SW を離します。



受信機がアップデート待ち状態になりました

9. PCへコピーしたアップデートファイルを実行します。



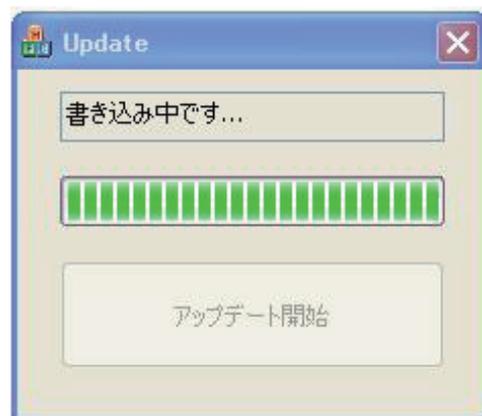
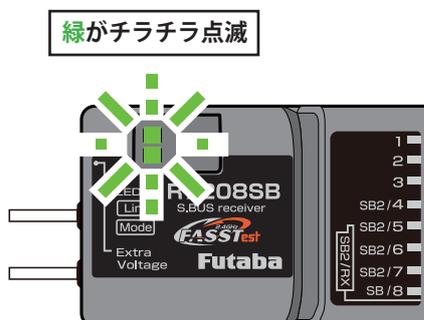
10. 受信機のLEDがオレンジ点灯のままPCソフトの「アップデート開始」をクリックします。



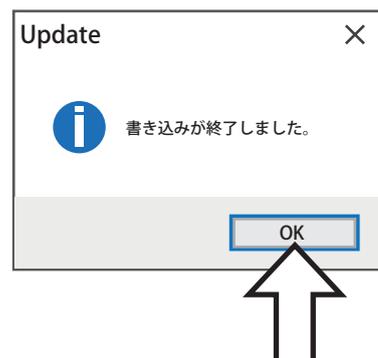
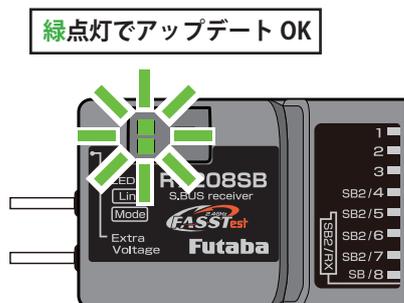
11. 「R7208SBをアップデートします。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」をクリックします。



12. アップデートが開始されます。アップデート中は、PCソフトのUpdateのバーグラフが進行し、R7208SB/R7308SBの緑LEDがチラチラと点滅します。



13. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SBの緑LEDが点灯します。PCに完了のメッセージ・ボックスが表示されます。



以上でアップデート作業が終了となります。「OK」を押して電源をOFFし、製品からケーブルを取り外して下さい。

動作確認を行い、正常に動作することを確認して下さい。

T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~), T26SZ を使用する場合

アップデート手順

1. 受信機のアップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

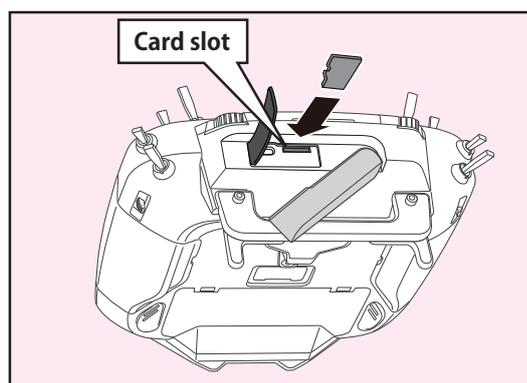
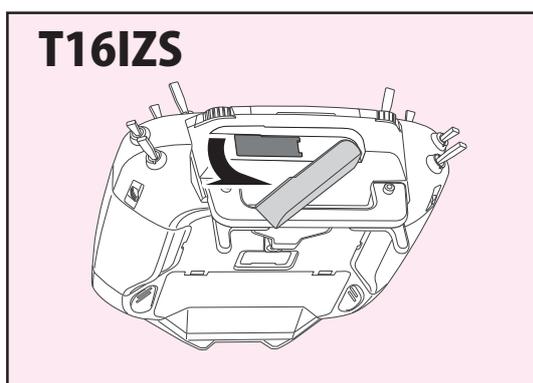
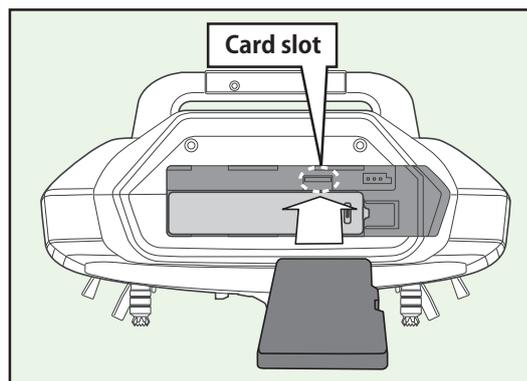
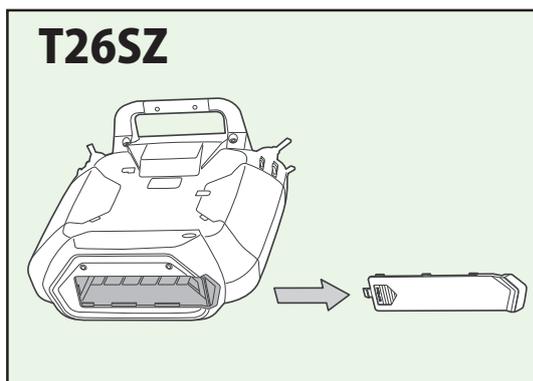
<https://www.rc.futaba.co.jp/>



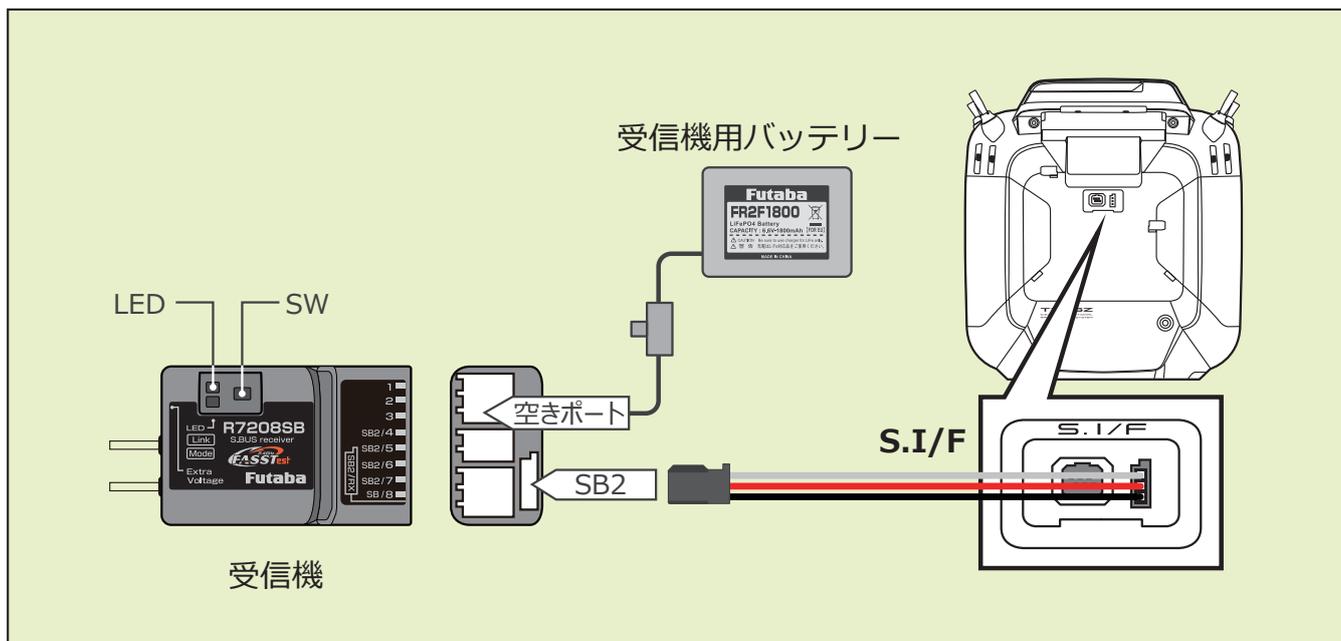
2. ダウンロードしたアップデートファイル (zip 圧縮形式) を展開 (解凍) します。

3. PC にマイクロ SD カードを挿入して、PC 上で展開した「FUTABA」フォルダーをマイクロ SD カードにコピーします。

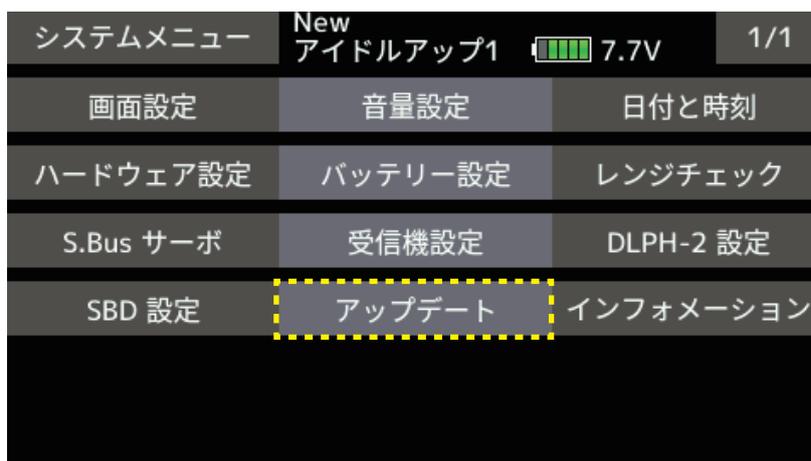
4. 「FUTABA」フォルダーをコピーしたマイクロ SD カードを、送信機のカードスロットに挿入します



5. 図のように受信機と送信機裏面の S.I/F ポートを接続します。

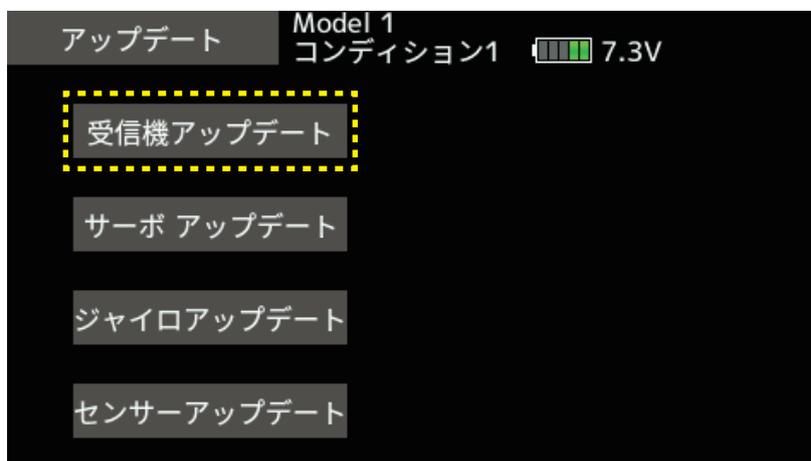


6. 送信機の電源を ON し、システムメニューから [アップデート] を開きます。

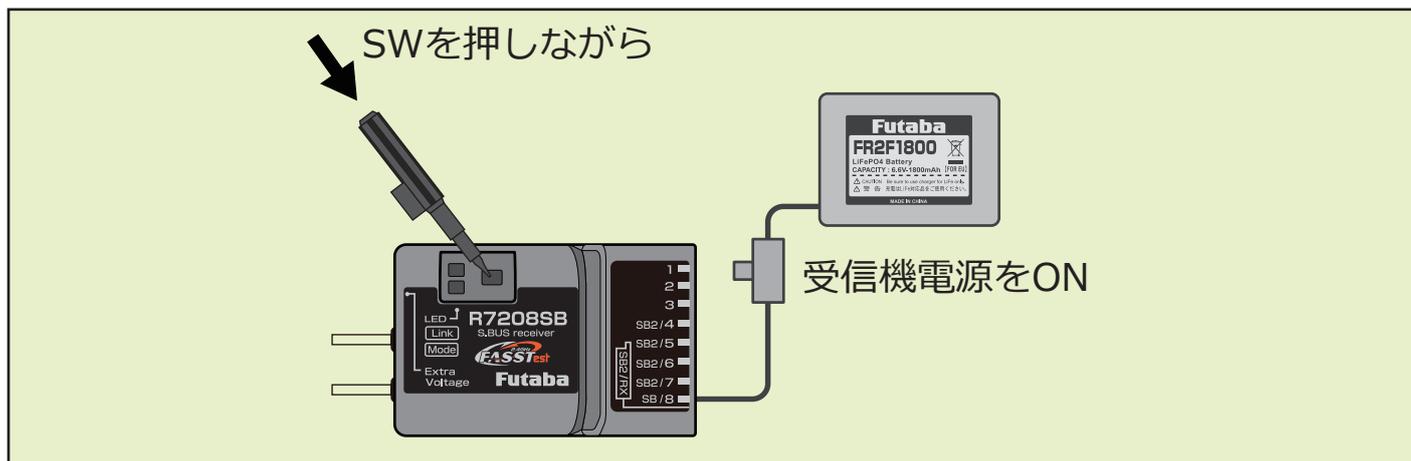


※送信機の機種により表示画面は異なります。

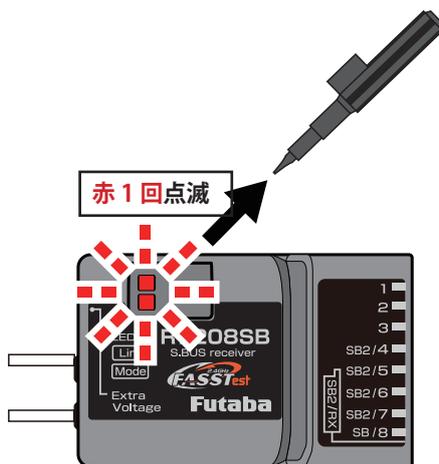
7. [受信機アップデート] → [R7208SB] をタップします。 ※ R7308SB も R7208SB をタップします。



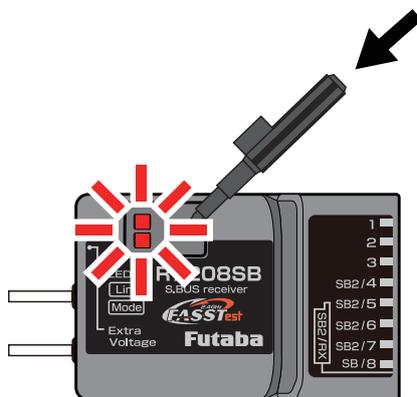
8. SWを押したまま受信機電源をONします。



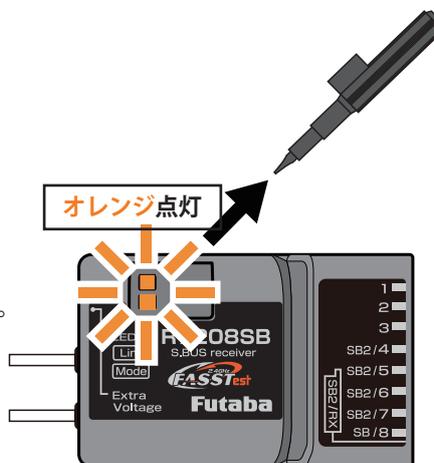
9. 赤が1回点滅したらSWを離します。



10. すぐに SWを長押しします。

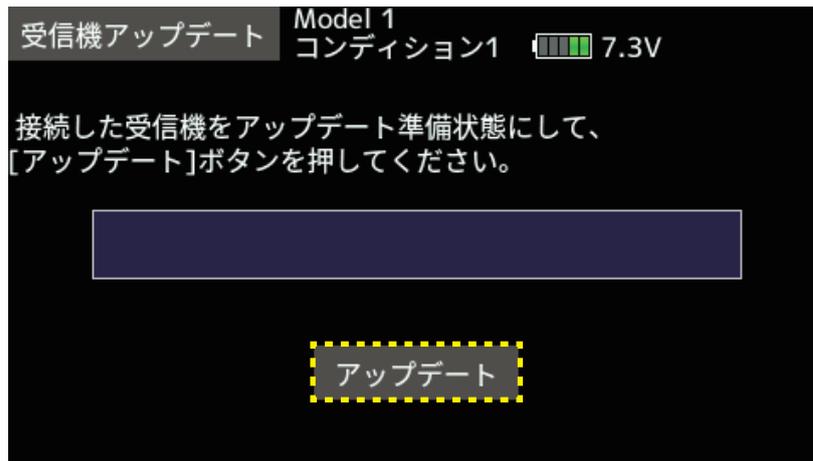


11. オレンジ点灯になったらSWを離します。



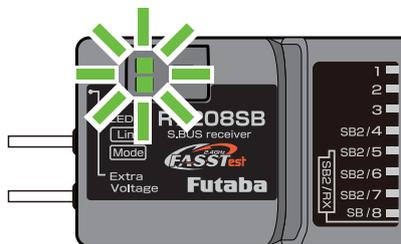
受信機がアップデート待ち状態になりました

12. 送信機の [アップデート] ボタンをタップします。

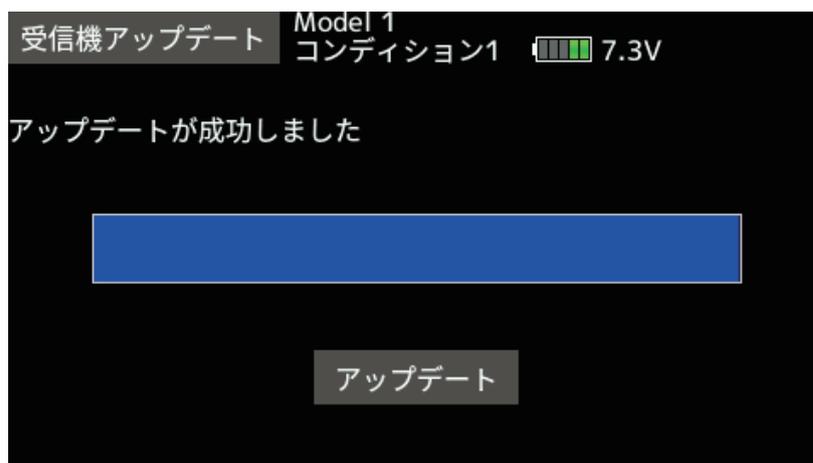


13. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SB の緑 LED が点灯します。

緑点灯でアップデート OK



14. 終了すると、送信機は以下の表示になります。



15. バージョンは [システムメニュー] → [受信機設定] → [読み込み] をタップすると確認できます。

16. 各接続を外します。

V2.3 アップデート内容

●フェイルセーフディレイ機能に対応しました。

フェイルセーフ起動時に設定値までサーボ等をゆっくり動作させる機能です。

フェイルセーフ/バッテリーフェイルセーフ時/フェイルセーフ復帰時/バッテリーフェイルセーフ解除時のサーボ位置の急激な変化を抑えることができます。

送信機(本設定が可能な機種)の「システムメニュー」内の受信機設定画面の操作で本機能をONにすることで、フェイルセーフを設定したチャンネルにディレイがかかります。

※本機能は個別 CH ごとの ON/OFF 設定はできません。

※対応送信機も最新バージョンへアップデートする必要があります。

●小型バックアップ受信機 R70SR (2026 春発売予定) へ対応しました。

V2.2 アップデート内容

●受信機の起動からサーボ信号を出力するまでのソフトウェア処理を見直しました。

一部の S.BUS 機器 (社外含む) にて、電源投入後の起動不良がごくまれに発生する現象を改善いたしました。

V2.1 アップデート内容

- リンク処理を改善しました。
- デュアル RX リンクモードのサブ RX /DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 接続時の処理を改善しました。

V2.0 アップデート内容

- FASSTest26CH に対応しました。
- チャンネルモードを拡張 (MODE H,I,J) しました。

受信機 CH 出力モード一覧表

出力コネクタ	設定チャンネル									
	モード A	モード B	モード C	モード D	モード E	モード F	モード G	モード H	モード I	モード J
1	1	1	1	1	9	9	9	17	17	17
2	2	2	2	2	10	10	10	18	18	18
3	3	3	3	3	11	11	11	19	19	19
SB2/4	4	4	4	S.BUS2	12	12	12	20	20	20
SB2/5	5	5	5	S.BUS2	13	13	13	21	21	21
SB2/6	6	6	6	S.BUS2	14	14	14	22	22	22
SB2/7	7	7	S.BUS2	S.BUS2	15	15	S.BUS2	23	23	S.BUS2
SB/8	8	S.BUS	S.BUS	S.BUS	16	S.BUS	S.BUS	24	S.BUS	S.BUS
LED 点滅回数	赤 1 回	赤 2 回	赤 3 回	赤 4 回	赤 5 回	緑 1 回	緑 2 回	緑 3 回	緑 4 回	緑 5 回

- デュアル RX リンクモードモード時の、DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 と接続時の不具合を修正しました。
- 送信機からの受信機設定に対応しました。

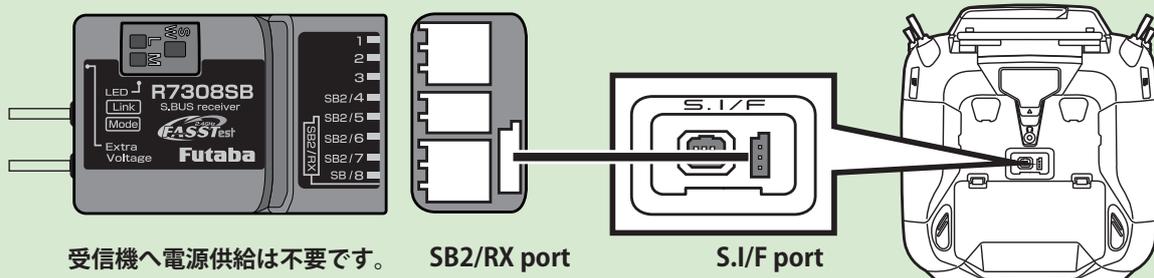
※ FASSTest26CH 使用時は受信機を必ず V2.0 へアップデートしてください。

※ T16IZ,T16IZS は 17ch 以降の操作はできません。

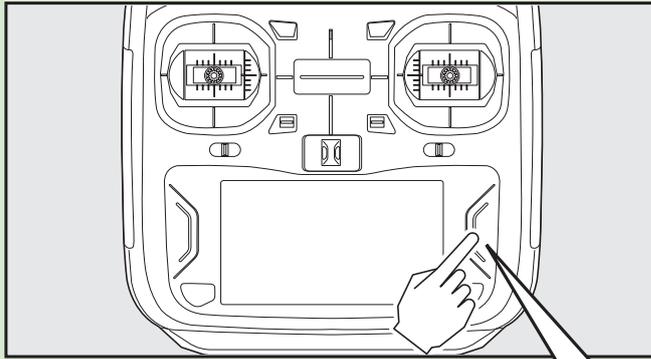
T26SZ, T16IZ(V6.0~), T16IZS(V4.0~), T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~) に受信機を接続するとバージョンの確認ができます。受信機のバージョンが V1.3 以前の場合はバージョン確認ができません。バージョン確認ができない場合は V2.0 へバージョンアップしてください。

T26SZ, T16IZ(V6.0~), T16IZS(V4.0~) を使用したバージョン確認方法

- ①受信機の S.BUS2 ポートと送信機の S.I/F ポートをケーブルで接続します。



- ②送信機が OFF の状態で、送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押したまま電源スイッチを押します。
電波が送信されない状態で送信機が動作します。



HOME/EXIT を押しながら電源 ON

- ※受信機が電波を受信している状態では、設定を行うことはできません。
- ※受信機設定後に受信機を使用する場合は、送信機の電源を入れ直して電波を送信してください。

- ③システムメニューから【受信機設定】画面を開きます。



- ④【読み込み】ボタンをタップします。



- ⑤受信機のバージョンが表示されます。



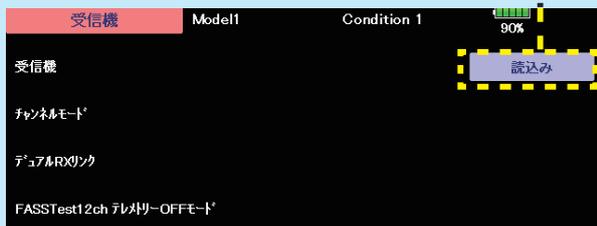
T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~) を使用したバージョン確認方法

- 送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押しながら電源 SW を ON します。
- いいえをタップします。



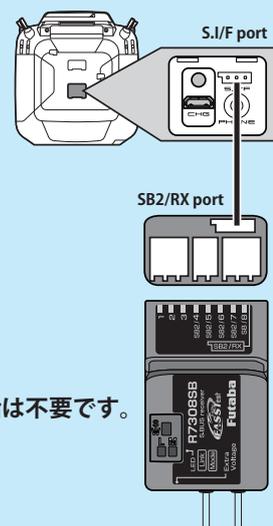
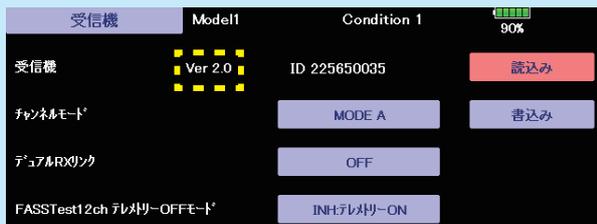
※安全のため電波が発信した状態では受信機設定できません。

- 右図のように受信機を送信機へ接続します。
- システムメニューから **【受信機】** 画面を開きます。
- 読み込みをタップします。



受信機接続後 10 秒以内に読み込みをタップしてください。10 秒経過するとエラーとなりますのでやり直してください。

- 接続された受信機の Ver. が表示されます。



受信機へ電源供給は不要です。

V1.3 アップデート内容

- FASSTest12ch テレメトリ OFF モード使用時に受信エラー時 F/S が働かない不具合を改善しました。
- テレメトリ回転センサー (SBS-01RM/RO/RB) の回転数表示が 0 にならない不具合を改善しました。
- R9001SB とデュアル RX リンクモード使用時にバッテリーフェールセーフ状態になった際にバッテリーフェールセーフ設定 CH がジッタする不具合を改善しました。
- FASSTest12ch モードで R9001SB とのデュアル RX リンクモード使用時に操作レスポンスを改善しました。

このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 が V1.3 アップデート対象品です。

受信機裏面



2354 以降は V1.3 アップデート対応済です。

今回のアップデートは不要です。

このシリアルナンバーが 2349 ~ 2353 でも下の写真のように白マルシールが貼ってるものは V1.3 アップデート対応済です。今回のアップデートは不要です。



受信機側面

V1.1 アップデート内容

- 一部に送信機とリンクできない場合がある問題を修正しました。

受信機裏面



このナンバーが 2351 以前の受信機が V1.1 対象です。2352 ~ の受信機は V1.1 アップデートの必要がありません。